ピンク・フラミンゴ（1972）

PINK FLAMINGOS

メディア　映画
ジャンル　コメディ
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　92分
初公開日　1986/06/21
公開情報　東映＝ケイブルホーグ
映倫　R-18
リバイバル　1998/07［日本ヘラルド映画］

【キャッチコピー】
そそりたつ芸術。

【解説】
　凶暴な殺人鬼ディヴァインは、バブス・ジョンソンと名を変え、母と友人、そして息子とともにトレーラー・ハウス生活を送っていた。彼女の悪名に嫉妬するマーベル夫妻は、娘をスパイに送ったりして、寝首をかく機会をうかがう。一方のディヴァインも夫妻が留守中にその屋敷に潜入、そこで部屋中ツバだらけにしたあげく、息子にフェラチオを始める。その頃、トレーラーは夫妻の放火で全焼。ディヴァインは彼らを捕らえ、公開処刑に処すのだった……。“地上で最も破廉恥な人間”の座をめぐって、考え得る限りの変態行為が能天気に繰り広げられ、明るい気分にさせてくれるＪ・ウォーターズの革命的傑作。この醜悪きわまりない映画を日本で見ようとすると、当然、バッチリ修正が入る。それで助かる部分、無きにしもあらず。だって、老婆エディと友人エッグ・マンの挙式パーティで行なわれるアヌス・ダンスはホンキでグロいんだもん。加えて、エピローグで“正真正銘・本番”と銘打たれるディヴァインの犬の糞ライブ喰いはやっぱり胸がムカつきます（ＢＧＭはペティ・ページの“わんわんワルツ”）。常識人にはあまりお薦めできない作品。製作２５周年を記念して未公開シーン（ウォーターズ自身の解説付き）で復元された＜特別編＞が作られ、日本でも９８年にリバイバル公開された。

【クレジット】

監督	ジョン・ウォーターズ	John Waters
製作	ジョン・ウォーターズ	John Waters
脚本	ジョン・ウォーターズ	John Waters
撮影	ジョン・ウォーターズ	John Waters
出演	ディヴァイン	Divine
	デヴィッド・ローチャリー	David Lochary
	ミンク・ストール	Mink Stole
	エディス・マッセイ	Edith Massey
	メアリー・ヴィヴィアン・ピアース	Mary Vivian Pearce
	チャニング・ウィルロイ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.